

特色ある学校

「地域連携ものづくり人材育成推進事業」の取組

元山梨県立甲府工業高等学校（現山梨県立峡南高等学校）教諭 長田 宇

1. はじめに

本校は、大正6年4月に甲府市立甲府工芸学校として開校後、甲府市立甲府工業学校、県立甲府工業学校と改称され、昭和23年に山梨県立甲府工業高等学校として現在に至っている。平成25年に創立96周年を迎え、2万7千余名の同窓生を有し、卒業生は地元産業界をはじめ各界で活躍している。

本校では、校訓を「質実剛健」、信条を「技術者となる前に人間となれ」とし、新しい時代を主体的・創造的に生きる、逞しくしなやかな心を持った人間性豊かな工業人を育成する工業高校である。

指導指針は人間教育を最重点に、「ものづくり」「進学」「部活動」の各分野で全国レベルの工業高校を目指し、「スーパー甲府工業構想」を強力に推進している。特に社会的・職業的自立に必要な知識、技術、技能、態度を育むと共に、地域社会や産業界に貢献できる人材の育成を目指している。

2. 事業の背景

- ① 団塊世代の熟練技術者の大量退職
- ② 若者のものづくり離れ
- ③ 技術・技能の継承や若手技術者の育成
- ④ 社会人基礎力（アクション・シンキング・チームワーク）を身に付けた若手技術者の育成（経産省）
- ⑤ 技能検定等の高度な資格を取得した確かな技術力
- ⑥ 新学習指導要領の改善の基本方針

「スペシャリストの育成」

「地域産業の担い手の育成」

「人間性豊かな社会人の育成」

3. 事業の経緯

(1) 工業高校の取組

① 地域産業のものづくりの現場を担う人材を育成

② 企業の高い技術力の維持と強化に貢献

③ 地域産業界のニーズを適切に踏まえた、より実践的な技術・技能の習得

(2) 「ものづくり人材育成のための専門高校・地域産業連携事業」(文科省指定事業「クラフトマン21」)

① 地域産業界と県内工業高校が連携したものづくり人材の育成と人材プログラムの確立

② 実施高校、工業高校3校（韮崎工、甲府工、谷村工）の機械系を中心

③ 実施期間 平成19～21年度

4. 本事業への移行

(1) 「クラフトマン21」事業の成果

① 産学官のコンソーシアムの確立

② 技能検定の合格者増加

③ 地元企業からの高い評価

(2) 県単独事業として実施

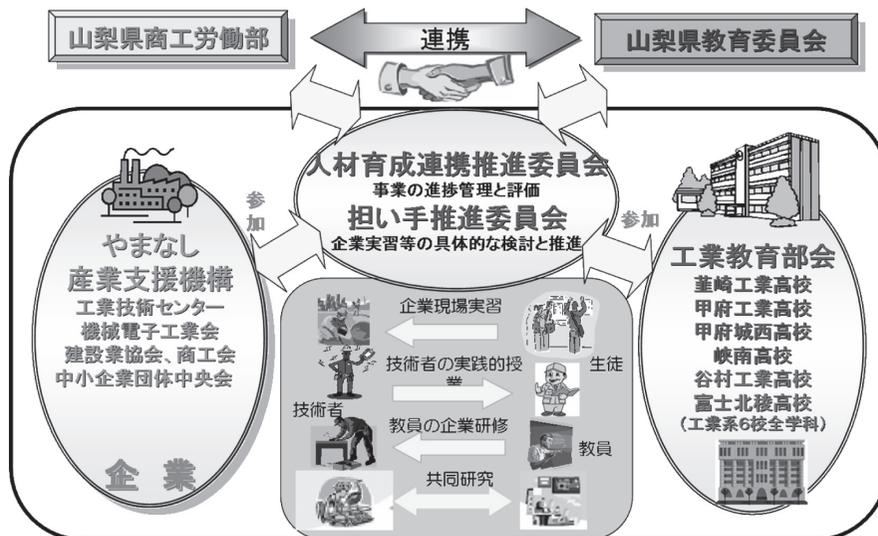
① 目的 確かな技術力を持ったものづくり人材の育成

② 対象 県立工業系高校

（韮崎工業、甲府工業、甲府城西、峡南、谷村工業、富士北稜）6校の全学科

③ 実施期間 平成22～24年度（3年間）

地域連携ものづくり人材育成事業
 技能を磨き、山梨の未来を拓く
 ～山梨の製造業の担い手育成を目指して～



④ 予算H24・23 (430万円) H22 (780万円)

5. 事業の内容

- ① 企業現場実習
 企業現場で、身に付けた知識・技能の実践
 企業で必要とされる人材を知る
- ② 企業技術者による実践的授業
 高い技術・技能の習得
 技能検定等の資格取得の指導
- ③ 共同研究
 「課題研究」等の授業に協力
- ④ 教員の企業研修
- ⑤ 関係機関との連携授業及び研修

6. 事業概要図 (上図)

7. 事業の取組

- (1) 企業現場実習
 1年生
 協力企業
 (株) 牧野フライス製作所
 NECコンピュータテクノ (株)
 THK (株) 6社
- 2年生・3年生
 機械実習に組み込んでそれぞれの企業に5人から10人ずつに分かれて実習を実施
 協力企業



溶接実習

三次元測定器



機械実習の二足歩行ロボットの実践的授業

- (株) 渡辺精機 (株) 峰岸商会 (株) 中家製作所 (株) 電溶工業 浅川熱処理 (株) 藤精機 (株) 丸慎熱処理 サンシン精工 (有) 小穴鋳造所 15社
- (2) 技術者による実践的授業
- ① 二足歩行ロボットの講義指導
協力企業：アイメック (株)
- ② 高度熟練技能者による技能検定機械加工旋盤3級の講習
- ③ 高度熟練技能者による技能検定機械検査3級の講習
- ④ 企業技術者による技能検定金属熱処理3級の講義 (実技 企業, 講義 学校)
- ⑤ 関東甲信越地区高校生溶接コンクール (関)
- (3) 教員の企業研修
- ① 山梨技能塾で旋盤, フライス盤の研修
- ② 山梨技能塾で機械検査の研修
- ③ 高度熟練技能者による溶接研修
- (4) 共同研究
農業用トラクターの遠隔操作の実習 (課題研究等) を岩間農機, 山梨大学等と共同し, 構造と改良の研究, 油圧制御の研究等を行った。



THK (株) の熟練技能者による講義



浅川熱処理 (株) による講義・講習



山梨県立産業技術短期大学校を会場に旋盤、フライス盤の実践的技術の研修



被覆アーク溶接

アルミのティグ溶接

8. アンケート結果

学校関係者アンケート結果

生徒：学ぶ目的が明確となり、意欲が向上した→90%

教員：研修により技術、技能が向上した→100%

保護者：企業実習の取組は意義がある→80%

企業アンケート結果

技術・技能が身に付いた→63%

コミュニケーション能力や協調性が向上した→69%

礼儀作法（挨拶・言葉遣い・モラル・ルール）が向上した→81%

次回、生徒等の企業実習の受入に協力できる→100%

以上概ね良好であるとの回答を得られた。

9. まとめ

「地域連携ものづくり人材育成」事業は、産業教育のみならず、我が国の抱えている大きな課題でもある。産業構造や就職・就業を取り巻く環境は、若者の勤労観や職業観にも大きく影響しており、本県のキャリア教育への取組が地域産業を担う人材育成につながるものと期待している。

今後は、既存の関係事業の成果を活かして、「地域産業ものづくり人材育成」事業を元に、「体系的なキャリア教育」の具現化を図っていきたい。そのためには、産業教育を牽引する各専門高校の教育課程の編成について一層の工夫改善を図るとともに、産学官労の連携をこれまで以上に整備・充実し、小学校、中学校、高校、専門学校、大学等や普通教育、専門教育を越えたつながりのある「山梨モデル」の確立を目指していきたい。